

F 8 表 最高裁判所裁判官国民審査

開票状況速報用紙

市 町 村 名 (開票区名)	竹田市
-------------------	-----

確定： 22 時 56 分 確定

※(開票区名)は大分市のみ記入

市 町 村	発信時刻	発信担当	点検担当
	時 分		

区 分 裁判官氏名	罷免を可とする 投票数 (a)	罷免を可としない 投票数 (b)	記載を無効と された投票数 (c)	計 (d) = (a) + (b) + (c)
尾島 明	707	8,783	0	① 9,490
宮川 美津子	673	8,817	0	② 9,490
今崎 幸彦	700	8,790	0	③ 9,490
平木 正洋	621	8,869	0	④ 9,490
石兼 公博	636	8,854	0	⑤ 9,490
中村 慎	609	8,881	0	⑥ 9,490
				チェック欄 (1) ○

上記の(c)欄には、「×の記号を自ら記載したものではない」等により、関係部分の裁判官にかかる記載に限り無効(一部記載無効)とされた投票数を計上すること。  
なお、当該投票は有効投票であって、下記の「無効投票数(B)」と混同しないこと。

	チェック欄 (2) ○			
有効投票数 (A)	9,490	無効投票数 (B)	497	投票総数 (C) = (A) + (B) 9,987
持帰り ・その他 (D)	3	投票者総数 (E) = (C) + (D)	9,990	チェック欄 (3) ○

(注)1. 黄色セルに漏れなく入力すること。

2. 「有効投票数」と①～⑥の各欄の数値はそれぞれ一致すること。

(A) = ① = ② = ③ = ④ = ⑤ = ⑥

その際、「チェック欄(1)」と「チェック欄(2)」が○となっていることを確認すること。

×となっている場合は、裁判官ごとの計と有効投票数に不一致があるので再度確認し正しいものとする。

3. 「投票者総数」は、F5表の投票者数計の数値と一致すること。

4. 「チェック欄(3)」が○となっていることを確認すること。

×となっている場合は、「投票総数(C)」と「持帰り・その他(D)」の計が「投票者総数(E)」と不一致となっているので再度確認し正しいものとする。

5. 報告後、修正が生じた場合は、表右上の修正回数を記入の上、再度、報告を行うこと。

その際、メールタイトルは次の例のとおりとすること。

(例) 「【修正1回目】F8\_02別府市\_国開票結果」とすること。